

令和 7 年飯田市議会第 4 回定例会 一般質問通告表

令和 7 年 12 月 4 日、5 日

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
1	宮 脇 邦 彦 (公 明 党) 【 40 分 】	1 未来を担う世代が安心して成長していける社会環境について (1) 不登校児童・生徒への取組について ① なぜ不登校が増えているか、現状の受止めは ② 学校生活での行動のノルマ化などが不登校の環境的な要因と考えるがどうか ③ みんなと同じように出来なくてはいけないという、こどもが持つ意識に対して配慮が必要と考えるがどうか ④ 義務教育の段階では、こどもは学校に行かなければならないのか ⑤ こどもが学校へ行く目的とは何か ⑥ 「教育機会確保法」の基本的な考え方は何か ⑦ 教育支援センター「びーいんぐ」の取組と特徴は ⑧ 「びーいんぐ」の今後の在り方は ⑨ 当市の社会資源を活用した不登校などへの支援は (2) 若者が集い、交流し、学び、相談できる居場所について ① ひきこもり等の困難を抱える若者への支援の現状は ② 県の「地域発元気づくり支援金」などを活用し、「ユースセンター」設置へ取り組む考えは
2	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 30 分 】	1 飯田市の女性活躍について (1) 女性が安心して住み続けたいと思えるような取組は ① 住民自治活動組織（まちづくり委員会）や審議会・委員会等への女性参画の現状は ② 女性参画による好事例は ③ 女性の意見を取り入れるための今後の取組は (2) 女性の就労支援について ① 女性のデジタルスキルアップのための養成講座の周知方法、受講者の年齢と当事者の声は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
2	岡 村 弘 子 (公 明 党) 【 30 分 】	② 受講者の就労実態と就労希望者に対する伴走支援は (3) 女性のウェルビーイングを向上させ、住み続けたい飯田市を目指して、市長の考えは
3	片 町 元 彦 (会 派 き ぼ う) 【 20 分 】	1 飯田食文化に根差した「カーボンニュートラル食育戦略」について (1) いいだ未来デザイン2028 基本目標 5 「誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる」の推進に向けて ① 2024年オーガニックビレッジ宣言によるオーガニック給食の提供は、将来を担うこども達の体づくり、食育「食を大切にし、生涯にわたり健康で豊かに暮らす」そして自然と共生する環境のまちづくりを牽引する重要な役割であると認識しているが、2024年3月に計画された有機農業実施計画（5か年）の現状は ア 有機米栽培の進捗状況は イ 今後の方向性は (2) 有害鳥獣のジビエ利活用について ① 食育及び飯田市の伝統的な食文化の視点から有機農業と共にカーボンニュートラルに貢献できるジビエの学校給食の活用は ア 地域内でのジビエの消費拡大（域産域消）を推進するための具体的な取組は イ オーガニック給食にジビエを組み合わせ提供することは有効と考えるがどうか
4	岡 本 恒 和 (新 政 い い だ) 【 30 分 】	1 放置竹林の整備 (1) 放置竹林について ① 整備が必要とされる放置竹林の把握状況は ② その課題認識は ③ 竹林整備は継続的な取組が重要であり、「多様な主体による協働」による初期整備後の管理も意識する必要がある。地権者のみの対応では困難な場合が多く、再び荒廃竹林化する懸念があるが、市の考えは ④ 地権者をはじめ、広く市民への予防啓発を強化する必要があるが、市の考えは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	岡 本 恒 和 (新政いいだ) 【 30 分 】	(2) 放置竹林整備を核とした地域活性化について ① 伐採からブランド化までを一貫した6次産業化につなげた先進的な市内の取組がある。これらの水平展開や地域の竹の特性（種類）に応じた展開をするなど市の方針は ② 体験型コンテンツを観光資源として位置づけ、SNS等を活用した発信力強化の考えは ③ 次世代の若者への対応は ア 教育プログラムの状況は イ 今後の方針は
5	佐々木博子 (新政いいだ) 【 40 分 】	1 「福祉」「交通」「自治」がつながる移動支援について (1) 公共交通について ① 市の考える公共交通と、その利用対象者は ② 公共交通の利用対象者は ③ 公共交通となるサービスは ④ 市が公共交通政策として考えることはなにか ⑤ 公共交通の適正な運賃に対する市の考えは ⑥ 免許返納者への支援が一度きりとなっているのはなぜか (2) 福祉から考える移動支援について ① 福祉の視点から考える移動支援の対象者は ② 要支援・要介護の認定はないが、公共交通を使うのが難しい人の日常生活を支える支援について市の考えは ③ 公共交通と連携した高齢者の外出支援について検討する考えは (3) 住民互助による移動支援について ① 地域の助け合いによる移動支援について検討する考えは (4) 制度をまたいだ移動支援への対応について市の考えは 2 20地区田舎へ還ろう戦略について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	佐々木博子 (新政いいだ) 【 40 分 】	(1) 地区別人口診断について ① 数値目標をどう捉えたら良いか ② 具体的な取組に対して、市からの支援はどんなことを考えているか
6	関島百合 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 図書館の役割とソフト面について (1) 読書会について ① 飯田市にはどのような読書会が、どれくらいあるか ② 役割をどのように捉えているか ③ 広めるためには何が必要か (2) 幅広い市民のニーズに応えられる取組は (3) 図書館利用が困難な方への対応は (4) 中央図書館で開催された「としょかんマルシェ」について ① 成果をどのように捉えているか ② 得たものを今後はどう活かしていくか (5) 居場所としての役割への新たな考えは (6) 全国に誇れる郷土資料をどう守り、どう活かしていくか (7) 図書館司書の役割をどう考えているか 2 飯田市の民俗芸能について (1) 民俗芸能の現状は (2) 市の文化財としてどう伝承し、守っていくのか
7	水月レイ (会派きぼう) 【 20 分 】	1 飯田市の産後ケア事業について (1) 産後ケア事業には宿泊型、デイケア（日帰り）、訪問型の3種類があるが、産後ケアに対しての認識はどうか ① 産後ケア事業の目的は何か ② 事業の利用状況は ア 利用者数はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
7	水 月 レ イ (会 派 き ぼ う) 【 20 分 】	イ 宿泊型利用に補助金があるが、なかなか利用の浸透には至っていない。補助額の上限を上げることは検討しているか ③ 宿泊型よりもデイケアの方が利用しやすいと考えるが、市の考えは ア デイケアの必要性をどのように捉えているか イ デイケア利用に対して補助制度が整っている町村もあるが、市の補助制度の今後の方向性は ④ 産後ケア事業を利用するための手続は ア 申請の流れはどうなっているか イ 令和6年度から国のガイドラインが変わり、対象者の範囲が拡大されたが、ケアを受けたい方が申請すれば全員利用できるようになっているか ウ 面談の在り方はどうか エ 今後電子申請も可能となるか (2) 産後サポートの取組は ① 産後の家事サポートや、母乳育児相談の補助券の存在や利用方法を知らない人がいた。もっと周知や補助券配布の方法を工夫できないか ② 産後のニーズに合わせたサービス提供をどう考えるか 2 飯田市の産後のお祝いの品について (1) 4ヶ月訪問のときに渡すものは ① 燃やすゴミ袋のサイズを市民が選択することを考えられないか ② ママたちへのこんなものがもらえたらいいなのアンケート等を実施したり、ニーズに合わせた内容の対応も考えてはどうか
8	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 30 分 】	1 野生動物との共存について (1) ツキノワグマとサル、ニホンジカの個体数の状況は (2) 「長野県第二種特定鳥獣管理計画（第5期ツキノワグマ保護管理）」に関して

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
8	松 岡 秀 治 (会 派 き ぼ う) 【 30 分 】	① 本市ではクマゾーニング管理実施計画を立てているか ② 緩衝帯整備事業の取組は ア いつから行われているか イ どこでどれぐらいの広さが行われたか ウ 誰が、どのようなことを行ってきたか ③ それぞれのエリアを選択した理由は ア 課題や戦略は明確か イ 効果と今後の取組は ウ 効果的な取組は ④ 将来的に対策をどのように進めていくか ⑤ 緩衝帯整備事業はどのような団体や組織が取り組めるか ⑥ 森林ボランティア等の参画はどのように考えているか ⑦ いいだWebマップと緩衝帯整備事業を照らし合わせたら効果や次への対策や課題などが明確になり、戦略を立てやすくなると考えるがどうか
9	遠 山 雄 (会 派 き ぼ う) 【 40 分 】	1 飯田市章、日本国旗掲揚について (1) 飯田市の行事において飯田市章、国旗の掲揚の考え方は ① 市章や国旗が掲げられている行事とそうでない行事があるがどういった場合に掲げられるか ② 市章や国旗を掲げる場合はどのような基準があるか ③ りんご並木をモチーフにしたシンボルマーク「時の番人」があるが、市章はどのような位置づけと考えるか ④ 近年の国旗損壊罪の動きや、国旗の強制掲揚反対意見など社会的な問題もあるが行政の立場としてどう考えているか ⑤ 飯田市議会において議場への市章や国旗の掲揚を検討する必要があると考えるがどうか 2 S D G s の推進について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
9	遠 山 雄 (会派きぼう) 【 40 分 】	(1) 飯田市のSDGsの取組は ① 国では政権が変わり、SDGsに対する姿勢も「多様性・脱炭素・国際主義」中心の取組を一部見直す可能性を示唆しているが、市としてはどう捉えるか ② 地方行政は国の下請け機関ではなく、独自の自治権を持つと認識しているが市としての認識は
10	野 崎 直 仁 (無会派) 【 30 分 】	1 道の駅の現状と今後のあり方について (1) 「遠山郷道の駅」の再整備の経緯と現状は ① 10億円程の改修費について ア 耐用年数がきた建物を建設時と同程度の費用をかけて改修した理由は イ 維持管理費を考えると今よりこじんまりとした施設に建て替えるか、あるいは減築することは考えなかったか ウ 費用対効果、特に飯田市全体における経済効果をどの様に見積もっているか ② 施設の採算性、及び指定管理のあり方について ア 予定来場者数に対して施設規模が大きいと考えるが、採算が取れるか イ 赤字額の見積もりが小さすぎて指定管理料が低すぎないか ウ 指定管理者は過去の実績等を考慮して選定すべきではないか (2) 飯田市にとっての理想的な道の駅とは ① コロナ禍で市内には団体客の立ち寄れる施設が少なくなったが、その点からも集客力のある豊丘村の道の駅のような施設は、飯田市にとっても有効と考えるがどうか ② 農産物を前面に押し出した豊丘村の道の駅のような施設は、ふるさと納税や田舎に還ろう戦略との相乗効果が見込めると考えるがどうか ③ 飯田市全体への経済波及効果や市民の利便性を考えた時の道の駅は、幹線国道沿いのインターからもアクセスの良い場所が最適と考えるがどうか ④ 市長が考える理想の道の駅とはどういうものか